

英語科学習指導案

I 単元 Let's design your dream!～夢を叶える時間割を提案しよう～

II 考察

1 教材観

(1) 育成を目指す資質・能力の三つの柱

①知識及び技能

将来の夢や必要な教科について質問・返答をする際に用いる英語の音声や文字、英語表現、文構造、言語の働きについての知識
将来の夢や必要な教科について質問・返答をする基礎的な技能

②思考力、判断力、表現力等

将来の夢や必要な教科に応じて、英語表現を選んだり組み合わせたりし、英語を用いて質問・返答をする力

③学びに向かう力、人間性等

自ら進んで英語を用いて相手の反応を確かめながら、将来の夢や必要な教科について質問・返答をしようとする態度

(2) 単元の価値

本単元は、"What do you want to (be/do)?" "I want to (be/do)～."等の英語表現を用いて、友達の夢を叶える時間割を提案したり、完成した自らの夢を叶える時間割を紹介したりする学習である。その価値は以下のとおりである。

本単元は、"What do you want to (be/do)?" "I want to (be/do)～."等を用いて表現することを通して不定詞の文構造や言語の働きについて学習する。前単元において好きな物やできること等について英語で自己紹介ができるようになった子どもたちが、本単元において願望を伝える英語表現を学習することで、自らの気持ちをさらに詳しく表現したり、相手の気持ちを知ったりできるようになる。

本単元では、提案者がドリームデザイナーとして相談者の夢を叶える時間割を提案する活動を行う。この活動は、質問・返答をしながら相談者の夢を叶えるために必要な教科やしたいこと等を基に合意形成を図る必要があるため、相手の反応を確かめながら願望を聞いたり時間割を提案したりすることにつながる。

時間割を扱うことは、子どもたちが相手の願望に合わせて教科の交換や時間数の調整をすることができる。また、時間割には学校で学習している教科に加え、ダンスやパソコン等のオリジナルの教科も取り扱う。これらは、友達の夢を叶えるために必要なことをより詳しく提案したいという気持ちをもつことにつながる。また、一人あたり一つの曜日について提案し、5人の友達の提案により1週間の時間割が完成できるようにした。これにより、曜日ごとの教科のバランスを考えて教科の交換や増減を提案するため英語表現を選んだり組み合わせたりすることができる。

(3) 今後の学習

ここでの学習は、5年「Let's make your trip plan. ～海外旅行のプランを紹介しよう～」において、「Where do you want to go?」や「I want to go to～」等の英語表現を用いて、旅行会社役と客役に分かれて海外旅行のプランを提案したり発表したりする学習へと発展していく。

2 児童の実態及び指導方針

子どもたちは、5年「This is me. ～自己紹介をしよう～」において、「What food do you like?」や「I like～」等の英語表現を用いて好きなことや得意なこと等について質問・返答をする学習をしてきた。この学習の中で明らかになった子どもたちの実態及び本単元を進めるにあたっての指導方針は、次のとおりである。

① 好きなことや得意なことについて質問・返答をする英語表現を理解してきている。このような子どもたちが、将来の夢や必要な教科について質問・返答をする英語表現を理解できるように、単元末の活動において用いることのできる「What～do you like?」等の既習の英語表現を基に伝え合う帯活動を設定する。

好きな食べ物やスポーツ、得意なこと等を英語の音声で発音したり書き写したりしてきている。このような子どもたちが、教科を表す英語表現を英語の音声で発音したり書き写したりできるように、繰り返し英語の音声を発音するビンゴゲームを設定したり、英語表現の見本や四線入りの学習プリントを用意したりする。

② 「I like～.」「I can～」等の英語表現を選んだり組み合わせたりし、好きなことや得意なことを紹介できるようになってきている。このような子どもたちが、「What do you want to do?」「What subject do you like?」等の英語表現を選んだり組み合わせたりして、夢を叶える時間割を提案できるように、時間割の一つの曜日に同じ教科は2時間まで入れられるというルールを設定する。

③ 自ら進んで英語を用いて相手の反応を確かめながら、好きなことや得意なことを紹介しようとしてきている。このような子どもたちが、自ら進んで英語を用いて相手の反応を確かめながら相手の時間割の状況に合わせて提案しようとしてできるように、相手の時間割の状況が見え、教科のコマを操作できる時間割ポケットを用意する。

Ⅲ 目標及び評価規準

Ⅳ 指導計画 ※Ⅲ・Ⅳについては、指導と評価の計画参照

Ⅴ 本時の学習（6／7時間目）

- ねらい 友達の夢を叶える時間割を繰り返し提案することを通して、相手の願望に応じて、夢を叶えるために必要な教科やしたいことについての英語表現を選んだり組み合わせたりし、夢を叶えるために必要な教科やしたいことについて質問・返答ができる。
- 準備 Question List 時間割の表
- 展開

学習活動と子どもの意識	指導上の留意点

- 1 既習の英語表現を用いて伝え合う。
- ・ "What do you want to do?"で友達がしたいことを聞けるのだったな。
 - ・ 友達も本が読みたいと言っていたよ。
- 2 本時のめあてをつかむ。
- ・ これまでに "What do you want to be?" を使って将来の夢を伝え合ったな。
 - ・ 今日は、いよいよ友達の夢を叶える時間割を提案するのだな。

- "What do you want to do?"等の既習の英語表現を用いることに自信をもてるように、Question Listを提示し、グループ内で振替休日にしたいことについて質問・返答をするよう伝える。
- 前時までに学習した英語表現を想起できるように、将来の夢を伝える英語表現を問いかける。
- 将来の夢や必要な教科に応じて、時間割を提案するという本時の見通しをもてるように、ALTとモデルを演示し、話の内容を問いかける。

めあて 「友達の考えを聞きながら夢を叶える時間割を提案しよう。」

- 3 夢を叶える時間割を提案する。
- ・ まずは、友達の将来の夢を知りたいから "What do you want to be?"と聞いて水曜日の時間割を提案してみよう。
 - ・ 友達はパティシエになりたいのか。料理の知識が必要だから家庭科を2時間入れて提案してみよう。
 - ・ 他の曜日にも家庭科が多いから、"Sorry."と言われてしまったな。友達を真似して "What do you want to do?"と聞いたらケーキをデザインするから "Arts and crafts"と教えてくれたよ。1時間入れてみよう。
 - ・ パティシエになるための時間割を提案したら "Very Nice."と言われたよ。提案できて嬉しいな。
 - ・ 次は、友達に自分の夢を叶える時間割を提案してもらえるな。楽しみだな。
 - ・ ぼくもサッカー選手になるための時間割を提案してもらえたよ。

- 英語表現を用いて、将来の夢や必要な教科についての質問の手がかりを得られるように、Question Listの使い方を助言する。
- 相手の反応を気かけられるように、2時間ずつ区切って時間割を提案するよう促す。
- 時間割全体の教科のバランスを考えられるように、他の曜日や1日の流れを見返すよう促す。
- 相手と目を合わせ、相手の反応を確かめながら話すことよさに気付けるように、将来の夢や必要な教科に応じて提案している子ども同士のモデルを将来の夢や紹介し、話の内容やコミュニケーションポイントの良い点を問いかける。
- 教科やしたいことについて質問・返答をする英語表現に自信をもてるように、必要な教科やしたいことに応じて英語表現を選んだり組み合わせたりしている子どもを称賛する。

— 評価項目 —

相手の反応に応じた教科，したいことを質問
・ 返答している。 <行動②>

- 4 本時のまとめをする。
- ・ 友達と将来の夢や必要な教科に合わせて時間割を提案できたな。
 - ・ 次回は、夢を叶える時間割を紹介するのだな。みんなに紹介したいな。

- 友達やALTと関わったことについて達成感をもてるように、「英語で伝えられたこと」を観点として、Tryシートに成果を記述するよう促す。
- 次時の学習への見通しをもてるように、Unit Listを提示し、次時の学習内容を問いかける。

指導と評価の計画（全7時間）

目標	友達の夢を叶える時間割を提案することを通して、英語を用いて将来の夢や教科、夢を叶えるためにしたいことを表現できる。			
評価 規準	(①知識及び技能) 将来の夢や時間割を提案する英語表現を理解している。 夢や教科を表す英語表現を英語の音声で発音したり書き写したりしている。 (②思考力, 判断力, 表現力等) 将来の夢や教科に応じて英語表現を選んだり組み合わせたりし, 質問・返答をしている。 (③主体的に学習に取り組む態度) 相手の反応を確かめながら, 自ら進んで英語を用いて将来の夢を叶える時間割を提案したり紹介したりしようとしている。			
言語 材料	What do you want to be? I want to be (a/an) (doctor/teacher/soccer player/vet/pianist...). What do you want to do? I want to (play tennis/swim/dance/cook...). What subject do you like? I (like/want to study) (Japanese/English/math/social studies/science/arts and crafts/P.E./home economics/calligraphy/moral education). ※ゴシックは新出言語材料			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目<評価方法(観点)>
つか む	1	○ALTとJTEによるモデルを見聞きし, 夢を叶える時間割を提案し, 紹介するために必要な英語表現について話し合い, 単元のめあてをつかむ。 — 単元のめあて — 英語で友達の夢を叶える時間割を提案し, 紹介できるようにしよう	○英語を用いて夢を叶える時間割を提案し, 紹介できるようにする見通しをもてるように, 学習内容をまとめたUnit Listを作成する際に, 「提案をするために必要な英語表現」の視点を提示する。	◇夢を叶える時間割を提案し紹介するモデルで話されていた内容について, 発言したり記述したりしている。 <発言・Unit List③>
	ふ か め る	1 ○"What do you want to be?" "I want to be~."を用いて将来の夢を伝え合う。 1 ○教科を表す英語表現を用いたビンゴゲームをし, "What subject do you like?" "I like~."を用いて好きな教科を伝え合う。 1 ○"What do you want to do?" "I want to~."を用いて夢を叶えるためにしたいことを伝え合う。 1 ○"How about~?" "Do you want to study~?"を用いて時間割提案ゲームをする。	○将来の夢を伝える英語表現を選んだり組み合わせたりできるように, グループ内で英語表現を確認し合う時間を設定する。 ○教科を表す英語表現を繰り返し発音できるように, 英語表現の書かれたフラッシュカードを用意する。 ○夢を叶えるためにしたいことを伝える英語表現を選んだり組み合わせたりできるように, グループ内で英語表現を確認し合う時間を設定する。 ○提案する英語表現を繰り返し発音できるように, 将来の夢や教科, したいことの書かれたカードを用意する。	◇状況に応じて夢を表す英語表現を選び, 伝えている。 <行動②> ◇教科を表す英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①> ◇状況に応じて夢を叶えるためにしたいことを選び, 伝えている。 <行動②> ◇提案する英語表現を英語の音声で発音している。 <行動①>
ま と め る ・ 生 か す	1	○友達の夢を叶える時間割を提案する。(本時)	○提案する英語表現を選んだり組み合わせたりできるように, 時間割の一つの曜日に同じ教科は2時間まで入れられるというルールを設定する。	◇相手の返答に応じて複数の教科やすることを提案している。 <行動②>
	1	○自らの夢を叶える時間割を紹介する。	○相手の反応を確かめながら夢を叶える時間割を紹介できるように, 聞き手が返答をする際に用いる英語表現を図にしたReaction Words Superを提示する。	◇自ら友達に声をかけて夢を叶える時間割を紹介している。 <行動③>

